

# 3月 セルクダより

少しずつ春の温かい日差しが感じられる季節となりました。今年度も残りあとわずか。来年度へ向けみんなで少しずつ準備をしながら、残りの日々もおもいっきり楽しみたいと思います。



月	火	水	木	金	土
2 音楽あそび 	3 クッキング(ちらし寿司)  持ち物:エフロン、三角巾、マスク	3 クッキング(ちらし寿司)  持ち物:エフロン、三角巾、マスク	5 午前:運動あそび  午後:手指あそび 	6 絵画あそび  持ち物:スモック	7 園外療育  ※午後の療育はありません。
9 午前:運動遊び  午後: みつばちプロジェクト 	10 午前:運動あそび  午後:手指あそび 	11 午前:園外療育  午後:運動遊び 	12 絵画あそび  持ち物:スモック	13 音楽あそび 	14 課題あそび 
16 絵画あそび  持ち物:スモック	17 運動あそび 	18 感触あそび  持ち物:スモック	19 課題あそび 	20 休み 春分の日 	21 避難訓練(火災) 音楽あそび 
23 感触あそび  持ち物:スモック	24 課題あそび 	25 屋外あそび  持ち物:帽子	26 制作あそび  持ち物:スモック	27 制作あそび  持ち物:スモック	28 運動あそび 
30 午前:運動あそび  午後:手指あそび 	31 屋外あそび  持ち物:帽子	公認心理師来所日→7日(土)、12日(木)、18日(水)、24日(火) 言語聴覚士来所日→3日(火)、9日(月)、11日(水)、13日(金)、14日(土)、17日(火) 19日(木)、21日(土)、23日(月)、25日(水)AM、31日(火) 理学療法士来所日→12日(木)、18日(水)、			

## ☆今月の活動☆

屋外あそび…バギーに乗ったい友だちと手を繋いだりして近くの公園に行きます。友だちと一緒にのびのびと身体を動かし、公共でのルールも守りながら遊びを楽しみます。

音楽あそび…音楽に合わせた友だちとのふれあい遊びや、表情や声色を変えながら歌う表現遊びに取り組みます。

クッキング…今月はちらし寿司を作ります。季節の行事を知り、型抜きをしたり、具材をトッピングしたりし、友だちと一緒に取り組むことを楽しみます。



## 「きょうだい」を支えるために



児童発達支援センター歩路・我路  
ガーデンキッズセルク・トリア  
ゆうひが丘希路・ニポポ・シュバル  
園長 水流 かおる

梅の花も満開を迎え、桜の便りも聞こえ始めました。また、一年の区切りの時期がやってきます。出会いと別れを繰り返しながら私たちは生きていかなければなりません、「3月」という響きは少しのさみしさを感じますね。

さて、九州大学遠矢浩一先生にもアドバイスをいただき、2月15日（土）初めての「きょうだい児支援」のイベントを開催しました。「きょうだい」というのは、私たちの事業所に通っているお子さんの兄・姉・弟・妹の総称で、あえてひらがなで「きょうだい」と表記しています。

私たちの事業所に通ってくるお子さんは、何かしらのサポートが必要なお子さんたちですが、その多くのお子さんには「きょうだい」がいます。

私たちはこれまでサポートが必要なお子さん本人・ご家族の支援に微力ながらも力を尽くしてきました。そして、今回ずっと取り組みたかった「きょうだい」への支援を行う事となりました。「きょうだい」への支援の必要性は十分感じていましたが、きっかけとなったのは2年ほど前の保護者会の茶話会に参加していたお母さんのことばでした。つい、サポートが必要なお子さんのことが優先され、その子の兄が「お母さん僕のこと好き？」と聞いてきたとのこと。お母さんは、はっとして兄の事にもこれまで以上に心を寄せるようにしたとのことでした。そして、この先もこの兄に対してどのように「キョウダイ」（サポートが必要な弟）のことを説明していけばよいのか、どのように関わっていってもらえば良いのか迷うとのことのお話もされていました。

このお話を受けて「きょうだい児」がもつ特有の悩みや、不安を理解し寄り添うために何か私たち周囲の大人にできることがあるのではないかと背中を押される思いでした。サポートが必要な「キョウダイ」や両親の想いを理解しようといつも頑張っている「きょうだい児」は、どのような悩みや不安、葛藤を抱えているのかを理解し、「きょうだい児」にも支援の目を向け、子どもらしさを大切にしながら健全な心の発達を促すかわり方をご家族の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。今回の「きょうだい児支援」のイベントでは親子でゲームをしたり、親子に分かれて子どもは思いっきり遊びを楽しみ、親は職員との意見交換をするなど賑やかに終了しました。ささやかですが、この取り組みを継続することで、サポートが必要な「キョウダイ」を含め家族みんなが笑顔で暮らせることにつながると確信しました。来年度もたくさんのご参加お待ちしております。

今年度も、事業所へのご理解ご協力ありがとうございました。

